

新年に当たり留学生センター
からのごあいさついたします

留学生センター長

福田 豊



明けましておめでとうございます。当留学生センターは、二〇〇一年四月に新しく発足しました。四名の専任教官がつきましましたので、まず、センター教官を公募しました。その結果、九月には、新しく次の二名の助教授の方々を迎えることが出来ました。加賀美常美代先生は、三重大学留学生センターから、森山新先生は、韓国世宗大学から本学に転入されました。既に文教育学部から移られた二名の専任教官（村松賢一教授、佐々木泰子助教授）とともに、本センターの任務を遂行すべく一丸となって張り切って活躍されています。

本学は、規模として全国的に見ると少人数の教官と職員ですが、少人数教育のよさを生かして頑張っています。その教育・研究環境を守り育てていくためには、あまり多くの組織を立ち上げるのではなく、今ある組織を如何に効率良く機能的に動かすかが大事なことだと思います。その点で留学生センターを考えるとみると、海外からの留学生の受入業務とそれに伴う日本語教育のみを一義的に進めて良しとするわけではなく、本学学生の海外留学支援や研究、教育のための国際交流をますます活発にすすめる任務等も持たねばならないものと思います。幸い、センター運営委員会のもとに今後の留学生センターのあるべき姿を検討するワーキンググループが出来、昨年

一月から話し合いを薦めております。できるだけ早急にこの会議の答申を出し、運営委員会ですれをまとめ、今後のセンターのあるべき姿を定め、全学的なコンセンサスのもとで良い体制を作っていきたいと思っております。その内容については、今後、機会あるごとに皆様にお知らせしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

学生たちの今もてるすべてを懸けた踊り
NHK賞を受賞

文教育学部芸術・表現行動学科

舞踊教育学コース 教授

片岡 康子

今年も五月から七月まで熱い夏を学生たちと過ごしました。第一四回全国高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）のコンクール部門に参加するためです。幸いにもNHK賞受賞（これまで文部大臣賞四回、NHK賞三回他受賞）。準優勝にあたるその成果に対して学長表彰を受けました。

群舞は、一人ひとりが自分をさらけだし友だちを理解するようになっていて、心が響きあう作品となります。オープンキ



キャンパスの日、学生たちの今もてるすべてを懸けた踊りに息をのみ、感動の涙を流す高校生たちがいました。あきらめずに「限界はない」と信じるだけで可能性は無限に広がります。今回も、壁を突き抜ける場面やからだに真の表現が現れる場面に立ち合うすばらしい日々でした。

大学見学会（オープンキャンパス）

本学の教育・研究に関心を持つ者を対象とした「大学見学会（オープンキャンパス）」を平成一三年七月二〇日（海の日）に開催、全国各地から一〇〇〇名を超える参加者があり、盛会に終わりました。

見学会では、まず、学部全体の説明会を午前中に生活科学部、午後から理学部、文教育学部の順で実施、説明会終了後、各学科等に別かれて模擬授業、講演会、研究室公開等を行うとともに図書館見学、学食体験、入試情報・カリキュラム・学生生活質問コーナー、在学生によるなんでも相談コーナーなども設け、好評でした。

また、今回は学長からの「見学者の方々と直接お話ししたい」との強い希望から、急遽懇談の場を設けました。急な企画で参加者は限られてしまいましたが、中には本学の卒業生でお子さんと一緒に参加された方もあり、本学が行ってきた女子教育、少人数教育のすばらしさなど、在学時の経験話をまじえた母親としての立場から貴重なご意見をいただくなど、こちらもたいへん好評でした。

平成一四年度の大学見学会の内容については未定ですが、本年度と同じ時期（平成一四年七月頃）を予定しています。